

439 中央大学創立記念会並びに学員秋季総会

〔法学新報〕第26卷11(303)号 大正5年12月1日

○中央大学創立記念会並学員秋季総会 去月十一日は我中央大学創立記念日に相当せるを以て例年の通り同大学大講堂に於て午後一時より盛大なる記念式を挙行したるか学生並に学員諸氏を始めとし講師及び来賓諸氏の出席する者二千名に上り定刻一同の著席するや学長奥田博士は君か代の奏樂と共に徐ろに登壇し挨拶を兼ねて学長自身か学生時代に於ける学生の風潮より説起して今日世に時めく諸名氏(ママ)の学生たりし頃に於ける逸話を物語り現時の学生と比し談笑の間に青年諸氏を激励し満場破るるか如き拍手の裡に降壇せらるるや直に余興に移り永田錦心の吉野落、高峰筑風の村上喜剣、小さんの「あなどろ」等の外学生の剣舞尺八等数番あり孰れも喝采声裡に演了し其れより階上階下数箇所に設備したる模擬店を一時に開きたるに一同なだれを打ちて思ひ思ひ各店に推しかくれは此所も彼所もさながら戦場の巷の如き混雑を極め「うどん」屋と「おでん」屋の如きは最も繁昌し一同腹鼓を打ちて十二分の歡を尽し学生諸氏は夕陽漸く没せんとする頃三三五五退散したり斯日他方に於て学員諸氏は五時半より学員秋季総会を開き一同著席するや学員会理事長花井博士を座長に推し付議事項中(一)理事及評議員改選の件は学長の指名に委ぬること(二)平松市蔵、家入経晴、遠藤周

藏、遠藤登喜夫、池田清秋、後藤雄次、島田武夫、奥野弘之、
千葉太力、今城漢雄、村尾太郎、三宮亦男、古屋東、山原富四
郎、永見雄之進、丸山徳三郎、菊地欣弥、海田英二、泉英斌、
森実美の諸氏を學員に推選することは孰れも満場異議なく之を
可決し了て宴会に入り和氣霽霽の裡に各飲を罄して散会したる
は八時を過ぐ当日學員総会に出席せられたるは伊藤悌治、石井
謹吾、一又安平、犬養駒太郎、井上銀左衛門、馬場恩治、馬場
豊三郎、花井卓藏、林頼三郎、花本福次郎、千葉彦治、岡田泰
藏、荻野対助、小野瀬不二人、太田徳太郎、尾畑喜平、岡崎一
治、小山残平、大松直重、大西光治、金子光太郎、高野金重、
武田明、辻本友次郎、根本仙三郎、中野勇治郎、宇田尚、内海
英吉、窪田関太郎、窪田欽太郎、山本角之助、矢淵義太郎、前
田顕一郎、松林治義、冬野辰市、小出範治郎、後藤伝兵衛、新
井要太郎、天野徳也、天野武雄、佐藤太真伎、佐藤正之、坂本
万作、宮古豊啓、宮地正彰、宮部準次、宮崎三郎、塩谷恒太郎、
品川英一、白井茂、島村他三郎、志賀三行、柴田元一、杉田卷
太郎、鈴木敬義、鈴木濟美等の諸氏なりき